

適応車種／車型 (表 1)

まえがき

はじめに ～必ずお読みください～

- 取扱説明書 部品番号

目次

◎ 表紙（商品名称、商品番号、適用 等）

◎ まえがき

◎ はじめに

◎ 目次

◎ 1. 本文中のシグナルワードとその意味

◎ 2. パーツリスト

◎ 3. 交換手順（1）純正クリーナの取外し

◎ 3. 交換手順（2）POWER INTAKEの取付け

◎ 4. 走行前の注意

◎ 5. メンテナンスについて

◎ 6. 故障 かな？ と思ったら

◎ 7. AFC配線図

◎ 8. AFC 補正值データ

◎ 取扱説明書改訂の記録

◎ お問い合わせ先

P 1

P 1

P 1

P 2

P 2

P 2

P 3

P 4

P 5

P 5

P 5

P 5

P 6

P 6

P 6

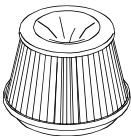
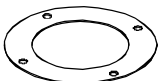
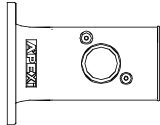
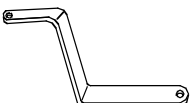
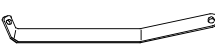
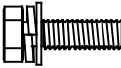
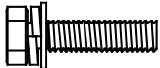
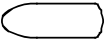
1. 本文中のシグナルワードとその意味

●弊社の「取扱説明書」には、あなたや他の人への危害及び財産への損害を未然に防ぎ、弊社の製品を安全にお使い頂くために守っていただきたい事項を記載しております。その表示（シグナルワード）と図記号の意味は次のようになっております。内容をよく理解してから本文をお読みください。

シグナルワードとその意味（表 2）

シグナルワード	シグナルワードの意味
 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険な状況を示します。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況、及び物的損害のみが想定される状況を示します。
お願い	この表示を無視して誤った取扱をすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び機能や事項などの内容を示します。

2. パーツリスト（表 3）

NO	品名・形状	数	NO	品名・形状	数	NO	品名・形状	数	NO	品名・形状	数
①	エレメント 	1	②	ガスケット 	1	③	インテークADPT 	1	④	ブラケット1 	1
⑤	ブラケット2 	1	⑥	ボルト (M6×1.0, L=16) 	1	⑦	ボルト (M6×1.0, L=20) 	2	⑧	ボルト (M6×1.0, L=25) 	2
⑨	キャップボルト (M4×0.7, L=8) 	2	⑩	タイラップ 大 (L=200) 	2	⑪	タイラップ 中 (L=150) 	1	⑫	タイラップ 小 (L=100) 	1
⑬	塩ビキャップ 	1	⑭	取扱説明書 	1						

3. 交換手順

(1) 純正エアクリーナの取外し (図は加-ラフィルダ- 1ZZ-FEのものです)

下図を参考にして以下の作業を行ってください。

※ 取外したノーマルパーツの中には、POWER INTAKE装着時再使用する物もありますので、大切に一時保管してください。再使用しない物も、大切に保管することをお勧めします。

1. バッテリーのマイナス端子を取外してください。

⚠ 注意 走行直後のエンジンルームは高温になりますので、作業を始める際は各部が十分冷めていることを確認してください。火傷の原因となります。

⚠ 注意 バッテリーのマイナス端子が確実に外れていることを確認し、またバッテリーのプラス端子に触れぬよう注意してください。感電の恐れがあります。

2. サクションホースのホースクランプ (A) を緩め、サクションホースをエアクリーナボックスから引き抜いてください。ホースクランプ (A) は再使用します。

3. エアフローメータのコネクタ (B) を外してください。コネクタ (B) は再使用します。

4. エアクリーナボックスに付いているスロットルワイヤ固定用フックからスロットルワイヤを外してください。

5. エアクリーナボックスに付いているキャニスターパージソレノイドバルブのフックを外してください。

6. <2ZZ-G Eエンジンの場合> ソレノイドバルブ2のコネクタ (D) を外してください。

ソレノイドバルブ2にささっているホース1と、スロットル周辺にささっているホース2を抜いてください。

7. エアクリーナボックスのアッパとロアを固定しているクリップ2カ所を外し、エアクリーナボックス (アッパ) を車両から取外してください。純正エアクリーナエレメントを車両から取外してください。

⚠ 注意 異物が混入しないように、エアクリーナボックスを取外した後の車両側サクションホース開口部は、ガムテープ等で一時塞いでください。異物が入ると、エンジンの故障の原因となります。

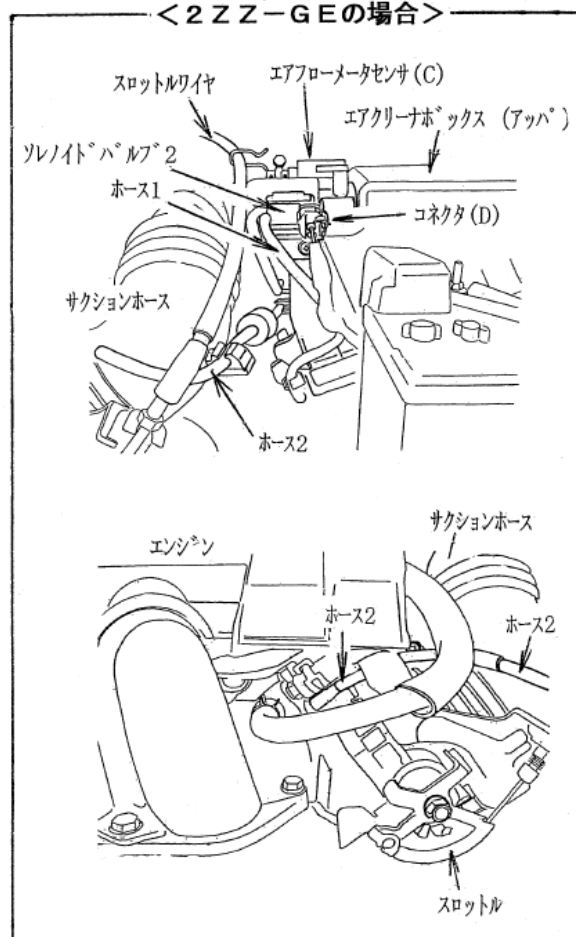
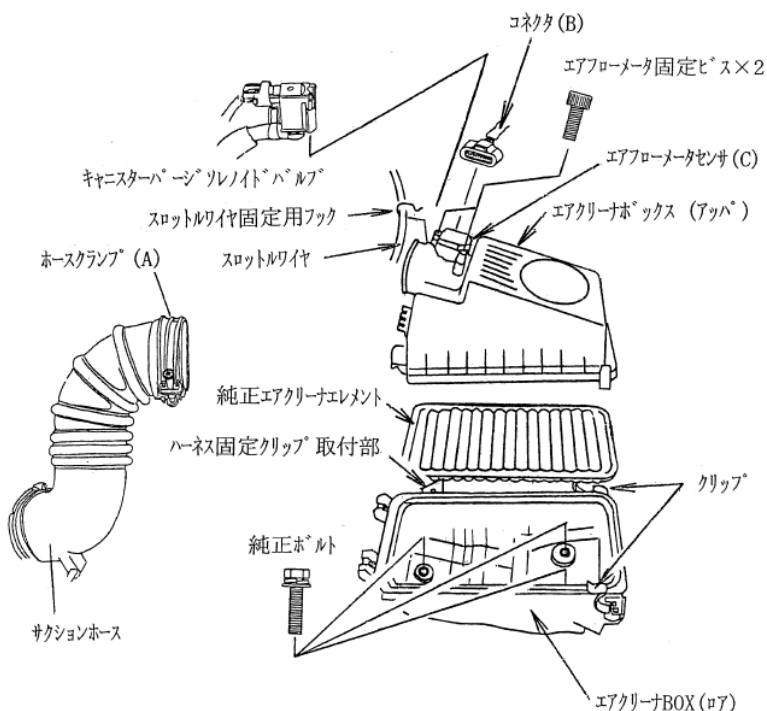
⚠ 注意 エアクリーナボックスに取付けられているエアフローメータセンサは精密機器ですので、衝撃等を与えないよう、十分注意してください。

8. エアクリーナボックス (ロア) に固定している配線クリップを外してください。

9. エアクリーナボックス (ロア) を固定している純正ボルト3本を緩め、エアクリーナボックス (ロア) を車両から取外してください。

10. エアクリーナボックス (アッパ) からエアフローメータセンサ固定ビス2本を緩め外し、エアフローメータセンサ (C) を取外してください。エアフローメータセンサ (C) は再利用します。

⚠ 注意 エアフローメータのOリングは傷つきやすいので、取扱いに注意してください。傷つきますとエア漏れの原因となります。



2098-3114

(2) POWER INTAKEの取付け

⚠ 注意 本締めに関しては、エレメント本体を極力ボンネットから下げるように、各部との干渉が無く、各部に無理な取付けが起こらないように注意して行ってください。
無理な力のかかる取付けを行うと、各 부품の劣化を早めると共に故障の原因となりますので、注意してください。

1. 取外した純正部品の中で、ホースクランプ(A)、コネクタ(B)、エアフローメータセンサ(C)は再使用します。
2. ③インテークADPTにエアフローメータセンサを差込み、⑨ボルト2本にて締付けてください。
3. **<2ZZ-GEエンジンの場合>** ⑬塩ビキャップを必要な長さにカットし、純正ホース2がささっていたニップルに差し込み、⑫タイラップ(L=100)にて締付けてください。
4. 下図を参照してPOWER INTAKEを組立ててください。この時、各ボルト・ホースバンド類は仮締めの状態にしておいてください。

※ エレメントの取付けは、②ガスケットの穴位置に合った4ヶ所のボルト穴にて取付けてください。取付けに使用しない4ヶ所のボルト穴は無視してください。

5. POWER INTAKEが無理なく固定されていることを確認してください。
6. 各部に無理な力や干渉がないことを確認した上でボルトを本締めし、エアフローメータのコネクタ(B)を接続してください。
7. POWER INTAKE取付け終了後、ボンネットを閉めながらPOWER INTAKEとボンネット・ボディが干渉しないかどうか確認してください。
8. キャニスターパージソレノイドバルブを⑩タイラップを連結させ、スロットルワイヤと共に純正サクシオンホースに固定してください。
9. **<2ZZ-GEエンジンの場合>** コネクタ(D)を⑪タイラップ(L=150)にて固定してください。
10. バッテリーのマイナス端子を、元通り接続してください。

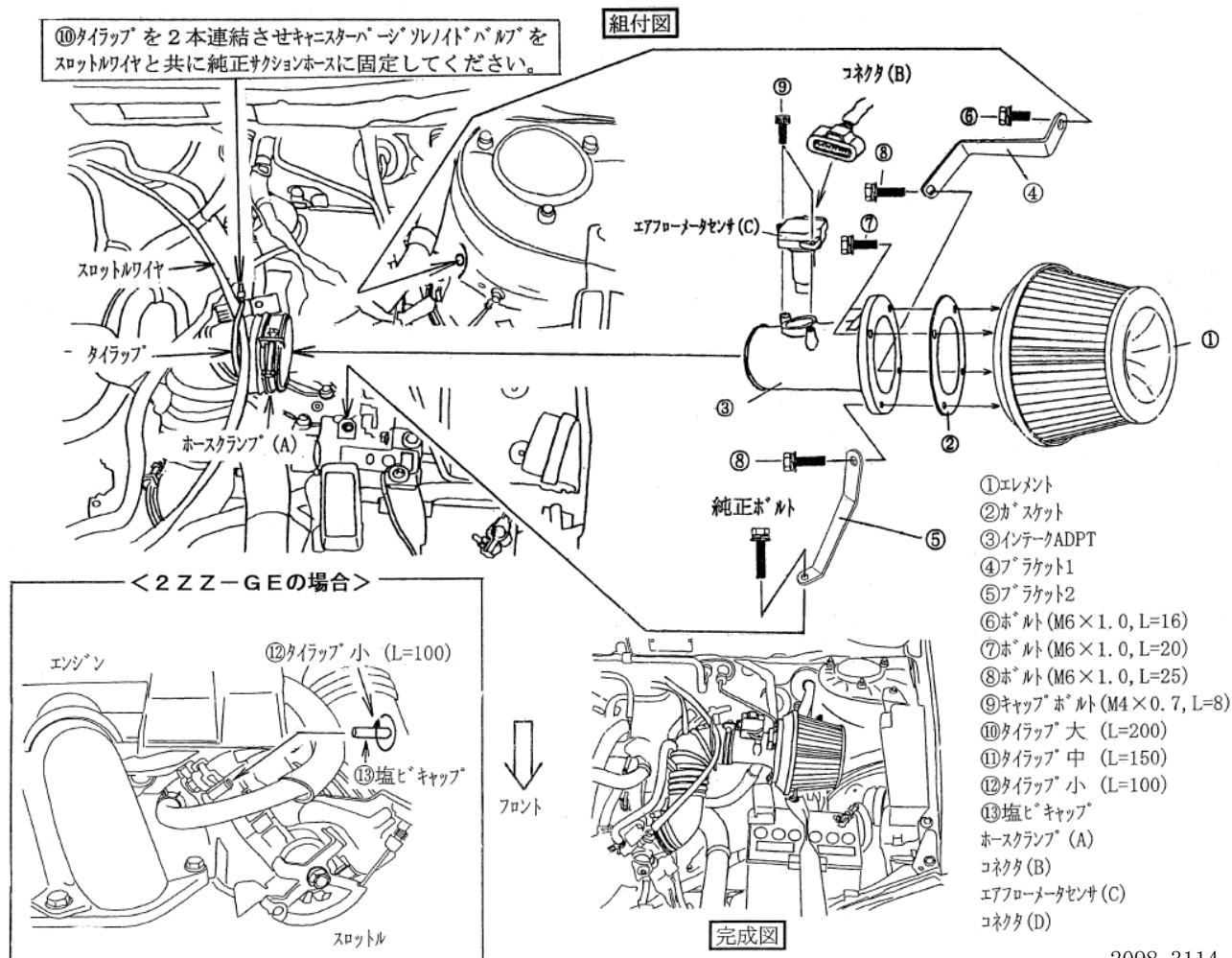
⚠ 注意 バッテリーのプラス端子に触れぬよう、十分注意してください。感電の恐れがあります。

11. 全ての取付け終了後、各 부품の取付けに間違いがないかどうか点検してください。間違いがなければ作業終了です。

※ ホースバンド類の締め忘れに注意してください。

●ボルト本締め時トルク M4 1.2~1.3 [N・m] (0.12~0.13 [kgf・m])

●ボルト本締め時トルク M6 5.1~6.5 [N・m] (0.52~0.66 [kgf・m])



2098-3114

4. 走行前の注意

- 各パーツが正確に取付けられているか、ボルト・ナットの締め忘れがないか、ハーネス類やホース類の接続不良がないか、もう一度確認してください。
- エンジンを始動させて、干渉等による異音がないか、確認してください。
- エンジン回転・振動・回転の吹け上がり等に異常がないか、確認してください。

5. メンテナンスについて

- POWER INTAKEは約25,000km清浄不要のメンテナンスフリー設計ですが、これはあくまでも一般的な基準です。取付け車種、走行条件、走行地域により交換時期が早まる可能性がありますのでご注意ください。エレメントの濾材部分が、汚れて変色してきたら交換時期と考えてください。

(表 4)

	商品コード	エレメントサイズ	必要数
POWER INTAKE交換エレメントKit	500-A022	外径φ160－内径φ75	1

交換手順等については、本書とPOWER INTAKE交換エレメントKit付属の取扱説明書を参照して作業を行ってください。

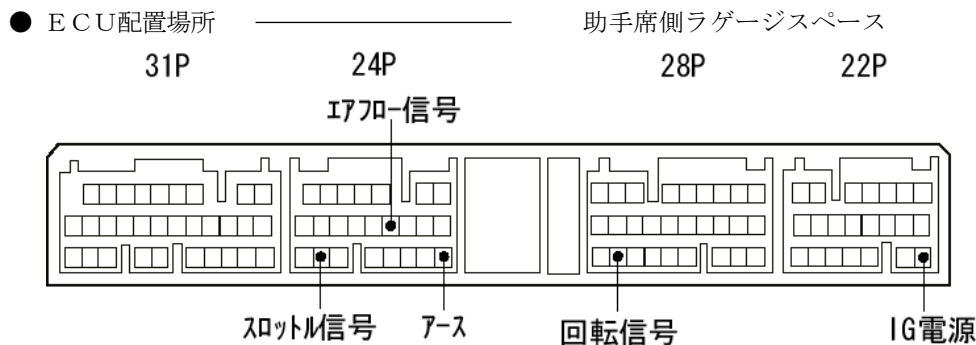
⚠ **注意：**著しく汚れたまま使用を続けると、POWER INTAKEが目詰まりを起こす恐れがあります。目詰まりを起こすとエンジンの性能を発揮できないばかりか、最悪の場合エンジン破損の恐れがあります。汚れの状態を確認しながら、定期的なPOWER INTAKEの交換をお勧めします。

⚠ **注意：**水・洗剤などの液体によってPOWER INTAKEの洗浄を行いますと性能が著しく低下しますので、絶対に避けてください。

6. 故障かな？と思ったら (表 5)

症状	原因と対策
●エンジンがかからない ●エンジン回転が安定しない	(1) エアフローメータのコネクタは接続されていますか？（断線していませんか？） (2) エアフローメータのコネクタは、確実に奥まではめ込まれていますか？ (3) ホース類は確実に装着され締め付けられていますか？ (4) パワーインテーク内部に異物が混入していませんか？ (5) バッテリ・ガソリンは十分ですか？
●異音がする ●振動がする	(1) 各部品は無理なく固定されていますか？ (2) 金属部どうして干渉していませんか？ (3) 各ボルト・ナットは緩んでいませんか？ (4) エンジンルーム内に工具や外したパーツ等が放置されていませんか？ (5) パワーインテーク以外から音がしていませんか？
●加速しない	(1) ホース類は、確実に装着され締め付けられていますか？ (2) ホース類に亀裂は入っていませんか？ (3) 各部品は無理なく固定されていますか？ (4) パワーインテーク内部に異物が混入していませんか？ (5) 燃料カットの可能性はありませんか？ →弊社又はお買い求めのお店にご相談ください。
●ノッキングが出る	(1) 空燃比が異常に薄くなっている可能性があります。 →弊社又はお買い求めのお店にご相談ください。

7. AFC（燃料補正装置）配線図



8. A F C（燃料補正装置）補正值データ

A F C（弊社、燃料補正装置）をご使用の場合、下記設定値にてご使用下さい。
詳しい使用方法については、各A F C付属の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意：下記A F C補正值は、あくまでも弊社社内データに基づく参考値です。
さらにフィーリングアップを望まれる場合は、専門の業者に依頼してセッティングを行う
ことをお勧めします。

	カラー フィールダー（1ZZ-FE）	フィールダー/ランクス/アレックス（2ZZ-GE）
設定エアフロ形式	ホットワイヤー式 No. 1 5	ホットワイヤー式 No. 1 5
設定気筒数	4 気筒	4 気筒
設定スロットル特性	↗	↗
設定アクセル開度	Hi-Thrtl. : 6 0 %	Hi-Thrtl. : 7 5 %
	Lo-Thrtl. : 3 5 %	Lo-Thrtl. : 4 5 %
設定回転数（Ne）	下記（表 6）参照	下記（表 7）参照
Hi-Thrtl. 側補正值	下記（表 6）参照	下記（表 7）参照
Lo-Thrtl. 側補正值	± 0 % ~ Hi-Thrtl. 側設定値	下記（表 8）参照

※カラーフィールダー（1ZZ-FE）でのセッティングデータ Hi-Thrtl. 側補正值（表 6）

回転数 Ne（rpm）	1000	2000	3000	3500	4000	4500	5000	6000
補正值（%）	+ 3	+ 3	+ 7	+ 4	+ 1	- 1	+ 1	+ 2

※カラーフィールダー/ランクス/アレックス（2ZZ-GE）でのセッティングデータ Hi-Thrtl. 側補正值（表 7）

回転数 Ne（rpm）	1500	2500	3500	4000	4500	5000	6000	7000
補正值（%）	± 0	+ 8	+ 2	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0

Lo-Thrtl. 側補正值（表 8）

回転数 Ne（rpm）	1500	2500	3500	4000	4500	5000	6000	7000
補正值（%）	- 1 5	- 1 2	- 1 4	- 1 4	- 2	± 0	- 3	- 3

取扱説明書改訂の記録

No.	改訂日付	取説部品番号	変 更 内 容
1	' 01. 4. 17	2098-3111	第 2 版 キャップボルト変更
2	' 01. 7. 21	2098-3112	第 3 版 適応車種追加
3	' 07. 7. 12	2098-3113	第 4 版 記載内容一部変更
4	' 14. 10. 30	2098-3114	第 5 版

お問い合わせ先



A p e x 株式会社

〒419-0313 静岡県富士宮市西山 1890-1
お客様相談室 0544-65-5061

＜無断転写、転載を禁ず＞ Apex 株式会社